

日本キリスト改革派神学研修所 第2学期講座

教会で学ぶジェンダー

井上有子（長野まきば教会会員）

教会で、自分の気持ちよりも周囲を優先してきたことはありませんか。「波風を立ててはいけない」「従うことが信仰だ」と、自分の思いを胸の奥にしまい込んできた方もおられるかもしれません。

この講座は、教会が「流行」や「時代の流れ」に合わせるためのものではありません。神から与えられた人間理解を、聖書に立ち返って受けとめ直すための学びです。ジェンダーについて考えることは信仰と対立するものではなく、創造と救いをより深く知る機会となるでしょう。

創世記1章27節には、「神は人をご自身のかたちとして創造された。男と女に創造された」とあります。男性も女性も、ともに神のかたちを映し出す存在として造られました。互いを支配したり従属させたりするためではなく、ともに神の愛を証しするために召されています。

福音書には、イエスが女性たちを一人の人格として尊重された姿が繰り返し描かれています。サマリアの女性と語り合い、罪を責められていた女性を立ち上がらせ、復活の知らせを最初にマグダラのマリアへ託されました。イエスは、沈黙を強いられていた人々の尊厳を回復してくださいました。

教会は神の愛を証しする共同体です。しかしその歩みの中で、女性が自分の思いや悲しみ、違和感を語りにくい空気が生まれたこともあったかもしれません。その現実に関心を傾けることは、教会を責めるためではなく、教会を癒すためです。

女性が自分の声を取り戻すことは、女性だけのためではありません。神が女性に託された賜物や経験が教会に分かち合われるとき、教会全体がより豊かになり、キリストのからだは本来の姿へと近づいていきます。

神の国をともに育むために、聖書を開きながら、ジェンダーについて一緒に学びませんか。

開始日：2026年11月10日（火）

開催日時：毎週火曜日7:00（オンライン開催）